

## 令和5年度第2回今治市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時 令和5年7月19日（水）13：30～15：00

場 所 今治市役所 市民会館 大会議室

出 席 者

・ 委 員：土居 忠博，窪 仁志，松本 真一，川田 卓哉，佐津間 英樹，平野 勇夫，  
赤尾 宣宏，坂井 克巳，堀田 大樹，今井 博紀，丹治 靖代，三好 哲，  
幸 義博(代理)，砂田 篤志，清水 駿，山崎 昭二，渡辺 久人，松村 暢彦，  
菊池 勝二，一色 利彦，松浦 和仁

（欠席）谷口 政賀津，森倉 遼太，村上 友則，阿部 克也，村上 恵子

・ 事務局：八木地域振興部長

地域振興部 地域政策局 地域振興課

白石局長（兼）課長，鳥生課長補佐、鴨川課長補佐（兼）係長、八木主査

### 1 開会

地域振興部長：

定刻となりましたので、ただ今から令和5年度第2回今治市地域公共交通活性化協議会を開催させていただきます。私、今治市地域振興部長の八木と申します。お手元に配布いたしております会次第に従いまして進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず初めに、委員に交代がございましたので、ご報告させていただきます。今回から、一般社団法人愛媛県バス協会の稲荷委員に代わりまして、松本専務理事が就任、瀬戸内運輸株式会社の門田委員に代わりまして、川田取締役運輸部長が就任、瀬戸内海交通株式会社の渡辺委員に代わりまして、佐津間常務取締役が就任、今治市老人クラブ連合会の矢野委員に代わりまして、渡辺若手委員長が就任され、ご出席いただいております。

また、一般社団法人愛媛県ハイヤー・タクシー協会の谷口委員、国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所の森倉委員、しまなみ商工会の村上委員、今治市連合自治会の阿部委員、今治市連合婦人会の村上委員、が都合により欠席となっており、越智商工会、新居田委員の代理で、幸経営指導員がご出席されております。

本日は委員総数の過半数のご出席をいただいておりますので、本会が会議として成立しておりますことをご報告いたします。なお、本会は原則公開で行うこととしておりますので、本日もそのようにさせていただきたいと思っております。

お手元の資料については、次第にあります配布資料のとおりでございます。不足がございましたらお知らせいただかたると存じます。

続きまして、開会にあたり、今治市副市長土居忠博よりご挨拶を申し上げます。

## 2 あいさつ

### 土居会長：

会長を仰せつかっております、土居でございます。本日は皆さま大変ご多用の中、また暑い中、さらには先ほどパラパラっと雨も降りまして足元も悪い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、今回新たに委員になられた皆さん、これからどうぞよろしくお願いいたします。

さて、ご案内のとおり地域公共交通、非常に厳しい状況が続いております。コロナ禍が大分落ち着いてきたとはいえ、まだまだお客さんは十分に戻っていない。さらにはその人口減少が続いているという中で、地域公共交通をどう維持していくかというのは大変な問題になっております。ＪＲ四国さんにおきましても、既存の路線の存廃問題が俎上にあがってきておりまして、しかしながらＪＲにしても、あるいはバスにしても、タクシーにしても、あるいは今治ならではの船にしても、こういう過疎化高齢化する社会におきまして、地域社会に不可欠なインフラでございます。なんとかしてこれをしっかりと守り、あるいはより便利にしていこうということが求められていると思っております。

新居浜市出身の十河信二さんという新幹線の父と言われた方が、多分、西条市長をされたと思うんですかど、国鉄の総裁も務められました。新幹線の生みの親とも言われています。この方、いま地元が一体となって、NHKの朝ドラマに取り上げてもらうように要望活動も進んでおりますかども、それはその先になにが待っているかということ、四国新幹線というのが当然狙いにあるわかでございますが、その四国新幹線はもちろんなんですかども、先ほど申し上げました今治地域の公共交通についてもしっかりとやっていく必要がある。十河信二さんの趣味が俳句でして、雅号、俳号っていうのかな、が、春雷子といいます。春の雷の子供と書くんですかども、これは洒落てまして、春の雷っていうのは、聞こえるのは大きいかもしれないかども、ほぼほぼその実害がないという、声は大きいかども、音は大きいかども、あんまりその地域に害を及ぼさないという意味で、雷親父と言われてた十河さんが自分のことを春雷子ということによっております。一方で十河さんは、新幹線ができるまで絶対に諦めなかった。つくるようになるまで、何度も何度も大蔵省に交渉してという形でやられたということで、最後まで諦めない方というふうに言われております。

今日の会議でございますかども、議題にありますように乗合タクシーの話でありますとか、デマンド型タクシー、あるいは相乗りサービスのmobi。こういう取組についてもご説明、あるいはご報告するようになってます。これは様々な取組をしておりますのは、地域公共交通をなんとかしなくちゃいけない。諦めてはいかないということで、十河さんではありませんかども、もう決して諦めないという取組で色々やっております。短絡的な目で、これは効果がないとか採算性が合わないとかっていうそういう議論も大事なんですかども、もう少し先をみて、将来的にどう効果が出るのか、あるいは将来的に本当に必要なのかどうなのかという検討もこれからいろんなトライをしていく中で決めていかたらと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

**地域振興部長：**

ありがとうございました。続きまして、次第3、議事に移ります。ここからは進行を、会長の土居副市長にお願いいたします。

### **3 議事**

#### **(議案1) 玉川地域乗合タクシーの運行内容について**

**土居会長：**

それでは議事に入らせていただきます。まずは議案の第1号、玉川乗合タクシーの運行内容についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

**事務局（白石地域政策局長(兼)課長)：**

それでは、議案第1号、玉川地域乗合タクシーの運行内容についてご説明させていただきます。資料の1-1をご覧ください。道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議が調っていることの証明書(案)でございます。玉川地域におかるデマンド型乗合タクシーに係わる記載内容について合意をいただき、この証明書を許可申請書に添付して運輸局に提出しようとするものでございます。

内容といたしまして、運行区域等は、玉川地域全域及び玉川地域と旧今治市内エリアのスーパーや病院等の目的施設を結ぶ区域で、乗降場所は表のとおりでございます。運行車両は小型タクシー4台で、運行形態は、常用と併用運行です。運賃は、玉川地域内の移動では、大人400円、小人200円、旧市内エリア行きでは、大人800円、小人400円で、障がい者、65歳以上の高齢者及び運転免許証返納者は半額となります。幼児は保護者1名につき1名まで無料。乳児は無料です。運行日、日運行便数は、玉川地域内の移動では、平日の週5日、6便運行、旧市内エリア行きでは、平日の週5日、往路復路ともに6便運行です。

資料の1-2をご覧ください。業務委託契約書(案)でございます。今治市玉川地域乗合タクシー運行業務といたしまして、履行期間は、令和5年10月1日から令和6年3月31日で、業務委託料は、愛媛県今治交通圏におかる時間距離併用運賃に運行管理費として税込月額1万5千円を加えた額です。契約保証金はございません。この業務委託につきまして、当協議会と、常盤タクシー株式会社で委託契約を締結しようとするものです。

資料の1-3をご覧ください。業務仕様書(案)でございます。本仕様書は、玉川地域におかる今治市乗合タクシー運行業務の実施に関して、必要な事項を定めるもので、瀬戸内運輸株式会社の運行する路線バス竜岡線及び神子森線の廃止に伴い、その影響範囲となる玉川地域におかる市民の日常生活に必要な移動手段を確保するため、デマンド型乗合タクシーの運行業務を委託しようとするものでございます。この今治市玉川地域乗合タクシー運行業務は、今治市地域公共交通活性化協議会が事業主体として委託するもので、運行主体は、運行開始までに道路運送法第4条に定める一般乗合旅客自動車運送事業の許可を取得する見込みの者で、許可申請書等に要する費用は、運行事業者が負担するものとします。業務委託期間は、令和5年10月1日から令和

6年3月31日までとし、契約の期間は業務実績を踏まえ契約を更新することがあるとしております。

運行区域は、5ページの別紙玉川地域乗合タクシー運行図のとおりです。業務内容は、運行方法として、基本的な運行経路、運行ダイヤ等に基づき、予約制の乗り合い方式により、乗車場所から目的地(降車場所)まで運行(区域運行)し、この場合、予約状況に応じた運行距離を優先した最適な運行経路及び順序で運行を行い、予約のない乗車場所は経由しません。また、予約のない便は運行いたしません。

2ページをご覧ください。路線、運行日、運行便数、運行ダイヤはご覧の表のとおりです。利用区間は、対象区域停留所間の利用に限り、旧市内エリアの停留所間の利用はできません。運行車両は、事業者が所有するタクシーとし、1便当り1台で運行することを基本としますが、玉川地域内の移動及び旧市内エリア行きを同一車両で時間内に移動できる場合は、1台での運行を可能といたします。また、必要に応じて追加車両1台まで配車し、追加車両を配車して運行する場合、ワゴン型タクシーを用いて1台で運行することも可能とし、本業務に使用する車両の運行時間外の専属性は求めないものといたします。

3ページをご覧ください。本業務の運行にあたっては、乗合タクシーであることがわかるように、協議会が貸与するマグネットシートを車両の両側面等に掲示するものとし、乗降場所等には、協議会が標識を設置いたします。利用料金は、降車時に協議会が定める利用料金を現金により運転手が利用者から受取取るものとします。徴収した利用料金は、協議会の収入とし、協議会が発行する納入通知書により運行月の翌月末までに納付するものといたします。予約受付及び配車に関して、運行事業者は、予約センターを設置し、利用者からの予約を電話等により受か付か、運行経路の選定・配車を行い、予約者に送迎時間等の連絡を行うなど円滑な運行を実施するものとします。予約センターの予約受付時間は8時から16時30分とし、利用希望日の1週間前から希望する便の受付締切時間までの予約とし、予約のキャンセルも同様といたします。予約センターは、既存の一般条例乗用旅客自動車運送事業との併用を可能とし、本業務における専属性は求めないものといたします。なお、予約受付に関する費用は、すべて運行事業者の負担といたします。事故対応及び損害賠償については、事故等緊急事態が発生した場合は、迅速かつ的確に対応し、速やかに協議会に報告するとともに、事故報告書を作成し提出するものとします。苦情等の処理についても、利用者からの苦情・問い合わせ等に誠実に対応するとともに、苦情の処理については苦情処理報告書を作成し、協議会に提出するものといたします。実績報告等については、協議会が用意する運行実績報告システムにより、利用者等の運行記録に関する報告を運行月の翌月10日までにを行い、随時、協議会の求めに応じて、必要なデータ等を報告するものとします。

4ページをご覧ください。委託料は、運行した車両の実車区間に対し、愛媛県今治交通圏におけるタクシー運賃基準(時間距離併用制運賃)を適用した場合の運賃額(メーター運賃)に、運行管理費として税込月額1万5千円を加えたものとし、実績報告書等に基づき支払うものといたします。注意事項及びその他の内容につきましては、本仕様書(案)に記載のとおりでございます。

最後に、資料1-4をご覧ください。玉川地域乗合タクシーのチラシになります。玉川地域で

は、9月1日号の広報いまばりに折込みにて、周知を図る予定でございます。以上でございます。

**土居会長：**

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、皆さんからご意見・ご質問等ございましたらお願いいたします。

**砂田委員：**

乗降可能な停留所ということで、8か所が書かれていますが、などというのは、これ以外の停留所がどこか分かれば教えてください。

**事務局（鴨川地域政策局課長補佐(兼)係長）：**

現在は8か所でスタートする予定でございます、今後また要望等がございましたら、増やしていきたいと考えているため、などと書かせていただいております。

**砂田委員：**

では、スタートがかかるのはこの8か所の降車場所、ということでよろしいですか。

**事務局（鴨川地域政策局課長補佐(兼)係長）：**

現時点ではそのとおりでございます。

**窪委員：**

この乗合タクシーの停留所なんですが、交通結節点になる今治駅は含まれてないということでしょうか。

**事務局（鴨川地域政策局課長補佐(兼)係長）：**

イオンモールまで瀬戸内運輸さんがバスを運行していただいておりますので、基本的にはここで乗り換えるということで、今治駅までは今のところ行くようなことは考えておりません。

**土居会長：**

瀬戸内運輸さんの商売の邪魔にならないようにという配慮なのでしょうか。

**事務局（鴨川地域政策局課長補佐(兼)係長）：**

そうですね。重ならないようにということでですね。かれども、ある程度買い物とか病院とかに行ってもらいたいということで、イオンモール、フジ今治店、山内病院ですね、中心寄りかなとは思いますが、そこまでは行くようにはしております。

**土居会長：**

J R 今治駅まで延ばすとなにか支障がでるとかそういうことなののでしょうか。そのあたり、川田委員さんどうでしょうか。

**川田委員：**

そうですね、今回この乗合タクシーそもそものが、私どもが神子森線、竜岡線を廃止するところからスタートしている話ですので、この事業に関しまして私どもが何か申し上げることもないのですが、この路線の、私どもが今言った 2 路線の廃止後も、今治市内とイオンモール今治新都市を結ぶ路線というのは存続して参りますし、少し便は減ってもですね、ご不便ならないような便の供給はしていきたいと思いますので、そのあたりもご理解いただいて、逆にイオンモール今治新都市を交通結節点という考え方でおとらえいただいたらよろしいかと思います。

**土居会長：**

逆にその J R 今治駅まで乗り入れてしまうと、ちょっと影響が出るといった感じなのでしょうか。

**川田委員：**

そうですね、これも 10 月以降どういうお客様の動きが出るかわかりませんが、今後お客様のご要望もあるでしょうし、バスを取るかこちらを取るかという話にもなりましょうし、すべて、駅まで 400 円で行かますよ、という世界になるとですね、これもなかなか勝ち目がないので、運賃的にも。非常に今後厳しい展開になろうかと思います。

**土居会長：**

ありがとうございます。このあたり J R さんとしたら、もうどうせだったら駅まできてよねという感じではあるんですよね。

**窪委員：**

今 J R では、いろんなところで、バスと競合ではなく共同で、お客様の利用回数、利用チャンスを増やす、それによってお互いが win-win になれる、そういうところを目指しております。だから、競合するかしらないかではなく、うまくダイヤの調整とかそういうことをみんなで勉強をして、行きはバスで行っても帰りはそのままタクシーが使えるから行ってみようかと、そういうチャンスを、お客様のチャンスを増やすことによって、お客様の外出の動機付かになるのではないかと、我々は考えております。

今、香川県内、それから徳島県内、そういうところで路線バスとの共同経営とか色々やっています。運賃料金を同じにするとかですね。なかなかこれハードルが高いのですが。どうしても J R の運賃とバスの運賃を比べるとバスの運賃のほうが高いんですね、そのへんの不足部分を事

業者で折り合いをつかるとか、そういうことで交通結節点での利便性の向上、これが、今後の持続可能な公共交通のあり方だと考えておりますので、もしよければその辺もまたご一考いただきたらと思います。

**土居会長：**

はい、ありがとうございます。これについて川田委員さん、その辺は今後、その場合によったら影響を見ながら、あるいは、今お話にあったような調整もしながら、また検討っていうのは構いませんか。

**川田委員：**

そうですね、逆に我々がこの10月以降に全くこの区間に関しては白紙の改正をさせていただいて、もう新規路線を立ち上げるものなんですとかど、その推移もですね、今後絶対、未来永劫この便数を維持できるという保証ありませんので、我々も非常に乗務員の数、厳しいところでやっていますので、逆に我々のほうからまだこれを減らしたい、というようなご相談も今後あるかと思っていますので、それはやぶさかではございません。

**土居会長：**

はい、ありがとうございました。この件につきまして、他にどなたかございますでしょうか。

**一色委員：**

先ほどの議案資料を見させていただいて、資料1-3の3ページ目のところに予約のところがありますが、予約の締切時間（9）の③のところに予約時間が書いてあって、希望する便の受付締切時間までの予約ってありますけれども、後ろのチラシを見ると2時間前、とありますが、それ間違いないのかなってのが一つと、あと、これはデマンドの全体的にいえる話ですが、予約するのが面倒だとか、色々そういう声がありますし、ダイヤも目安が書いてありますけど、この時間帯が使いづらいとかいうような声もあるかと思っていますので、そこら辺は多分色々声を聞いたうえで設定されているのかなと思うのですが、そこらをまた皆さんの声を聞きながら、使い勝手のいいものにしていただきたらなというのが一つ目です。

あともう一つはお願いで、10月1日からスタートするということになってますけれども、今7月も半分以上きてますが、どうしても許可の申請を私たち運輸局に出していただくにあたって、審査にも一定の時間をいただくことになりますので、当然この協議整った後ということにはなりますけれども、書類ができ次第、早めに申請をいただければなというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

そして、先ほどバス会社さんと鉄道会社さんのお話にもありましたけれども、やはり地域の足というのは、路線バスだとか、デマンドだとか、鉄道だかでは成り立たなくて、それぞれが連携して、それを組み合わせて皆が行きたいところに行かる、とか、帰って来られる、というよ

うなものですので、それが皆さんにとって使いやすい、使ってみたいというような、それを使ってどっか行きたいというようなものになるような形で、今後連携してやっていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

**土居会長：**

ありがとうございました。最終的には運輸局さんの調整能力次第になると思いますので、よろしくお願いします。

**事務局（鴨川地域政策局課長補佐(兼)係長）：**

先ほどの時間ですが、仕様書上は一応前日までということで書かせていただいておりますが、常盤タクシーさんとの協議におきまして、2時間前でしたらなんとか対応できるということでいただいておりますので、そのようにチラシのほうは書かせていただいております。ただ1便目は、どうしても前日の16時半までの予約ということになっておりますので、そのへんをご理解いただければと思います。よろしくお願いします。

**一色委員：**

利用される方がわかりやすいような形で、チラシもそうですかど、周知してもらえたらと思います。

**事務局（白石地域政策局長(兼)課長）：**

ありがとうございます。心がかかります。

**土居会長：**

他にございますでしょうか。

**砂田委員：**

これが利用できる利用対象者っていうのは、どういう方が利用対象者ですか。今治市民全員ですか。それともこの玉川地区の人だけですか。

**事務局（鴨川地域政策局課長補佐(兼)係長）：**

今治市民全員使うことは可能かと思います。市内の停留所から玉川のほうに向かっていく便にも使えると思いますので、そのへんは皆様に周知していかばと思います。

**砂田委員：**

例えば、今治市内の人が鈍川温泉に行くというときもこれを利用できる、という理解でいいですか。



**事務局（鴨川地域政策局課長補佐(兼)係長）：**

はい、そのとおりでございます。イオンモール等までバスで来ていただいて、そこから乗合タクシーで鈍川温泉のほうに行っていただくというふうなことを考えております。

**土居会長：**

よろしいですか。これ今治市民か、ほかの例えば松山市民かってのはどうやって判別するのですか。

**事務局（鴨川地域政策局課長補佐(兼)係長）：**

すみません。ちょっと言い方が悪かったんですかども、どなたでも使うこと可能なので、観光で今治を訪れた方が使うということも可能でございますので、そのへんも含めて周知していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

**土居会長：**

ということは、もうどなたでもどうぞ。今治市民に限らずどなたでも利用できる、ということでしょうか。

**事務局（鴨川地域政策局課長補佐(兼)係長）：**

そのとおりでございます。

**松村委員長：**

すみません。広報のことについてなんですが、広報にこの折込みを入れるって話がありましたが、他の方法ってなにかされるんですかね。具体的に申し上げますと、玉川地域の様々な集まりとかに行って、具体的にここが乗り場になってとか、こういうところで降りられますとか、予約する時にはこの電話番号にしてくださいとか、そういうような逐一の話というのは。

**事務局（鴨川地域政策局課長補佐(兼)係長）：**

もちろんその辺も考えておりまして、老人会の集まりであるとか、各地域でされているコミュニティの集まり等々ですね、その辺でも周知していくようなことで考えております。

**松村委員長：**

うん。ぜひそのときに課題であったりとか、もっとこういうところっていうところもあわせて聞いていただけるといいかなと思います。

特に、やっぱり立ち上がりって超重要なので、今日もご報告あるかと思うんですかども、コミュニティ交通の中の一番最初の立ち上がりっていうのを、いかにこう周知して、徹底的に乗ってもらえるようにやるのかっていうことで、あとは楽にできると思うんですかど、そのいったん乗

ってないようなものに乗ってもらようにするってのは、もう不可能に近いので、その最初の第1便にどれだか乗っていただかるのかっていうところを注力いただければというふうに思います。以上、お願いします。

**事務局（鴨川地域政策局課長補佐(兼)係長）：**

はい。ありがとうございました。

**土居会長：**

ありがとうございました。他にございますか。合わせてお聞きしたいのですが、前回、以前から始まったこの地区の近くでいうと朝倉地域の乗合タクシー事業が、非常に利用者が少なく、苦戦しているという話を前にご報告したと思いますが、それに比べて今回、玉川地域の乗合タクシーでなにか工夫してるとか、ここをこう変えてますとかいうのがありましたら、ちょっと簡単に紹介いただいたら。

**事務局（鳥生地域政策局課長補佐）：**

朝倉地域の利用者数が少ないことに関しましては、我々もちょっとどうしたら利用を伸ばしていけるのかなっていうところは非常に考えておりまして、この度玉川地域におきまして、まず、ここを変えたというところについてなのですが、まず今回、乗り降りできる場所を玉川地域ではごみステーションとか、各地域の集会所など100か所以上の停留所を設定いたしました。それとともに、これまでバスが実際に走っていなかった各谷々の路線であるとか、そのあたりでも乗降が可能となってまして、線でそこを補っていくのではなく、面で、全エリアで乗降が可能ということにしております。

あと運行ダイヤにつきましても、平日の毎日6便運行としておりますので、かなり住民の方、あるいは、観光客の方とかにとっても非常に利用しやすいような仕組みになっているのではないかと考えております。こちらで一旦スタートをしてみまして、今後の課題であるとか、住民の方のニーズを聞き取って、よりよいものにしていかたらと考えております。

**土居会長：**

はい、ありがとうございました。皆さんから今いただきました様々なご意見も取り入れながら良い形でスタートを切れたらと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。他、ご質問等ございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、こちらの議題になります玉川地域乗合タクシーの運行内容につきまして、ご承認いただいてもよろしいでしょうか。

（異議なし）

ありがとうございます。それではそのように承認ということでさせていただきます。

## **(議案 2) 今治市地域公共交通計画の更新に係る基礎調査業務の実施について**

**土居会長：**

続きまして、議案の第 2 号になります。今治市地域公共交通計画の更新に係る基礎調査業務の実施についてを議題といたします。事務局から説明を申し上げます。

**事務局（白石地域政策局長(兼)課長）：**

それでは、今治市地域公共交通計画の更新に係る基礎調査業務の実施について説明させていただきます。

資料の 2-1 をご覧ください。業務名は今治市地域公共交通計画の更新に係る基礎調査業務でございます。目的は、今治市におかる地域公共交通の維持・確保を図るため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、令和 2 年度から令和 6 年度までを計画期間とする、現在の今治市地域公共交通計画の令和 7 年度の更新に向かまして、今治市の公共交通に係る現状と今後の課題を詳細に整理するための調査を今年度を実施するものであります。履行期間は契約締結日から令和 6 年 3 月 18 日までとし、契約方法は、一般競争入札により契約業者を決定いたします。

内容の詳細につきましては、資料 2-2、今治市地域公共交通計画の更新に係る基礎調査業務仕様書(案)の 4、業務内容をご覧ください。

まず、現計画を踏まえまして、既存の統計データ等をもとに、市内の地域公共交通等の現状を把握し、次回更新する新たな今治市地域公共交通計画の更新検討に資する内容として、公共交通の現状を整理いたします。続きまして、アンケート調査、利用者の移動実態の分析及び交通事業者等へのヒアリング調査を行い、公共交通のニーズや実態等の調査を行います。以上の結果を踏まえまして、現計画に対する評価を実施するとともに、今治市におかる地域公共交通が直面している状況や問題点を明らかにし、地域公共交通に係るニーズ、課題、今後の新たな戦略等を整理いたします。その他の内容につきましては、本仕様書(案)に記載の通りでございます。説明は以上でございます。

**土居会長：**

ありがとうございました。こちら地域公共交通計画につきましては、来年度、令和 6 年度から更新の作業に入ります。公共交通計画、令和 7 年からが次の第 2 期、次の期の計画がスタートしますので、来年度令和 6 年度に見直し、更新の作業を進めます。その更新作業に資するための基礎調査の業務を今回実施したいというものでございますが、こちらにつきまして、なにかご質問等ございますでしょうか。

**菊池委員：**

アンケートですが、本市中心部及び新都市内の主要施設などというところですが、公共交通全体のアンケートなのかと思っておりましたが、これは多少絞ってるのは何か理由があるので

しょうか。

**事務局（鳥生地域政策局課長補佐）：**

アンケート調査につきましては、実は、現計画の際にもランダムに郵送して、各回答者からのアンケート調査を実施しております。今回、アンケートにつきましては、ランダムに郵送して、また回答いただくというのは、非常に経費もかかるものでございますし、正直バス等のお客様の数が減ってる、船便についても減少しているというのは、我々も把握しているところではございますので、今回につきましては、全体に広く調査をかかていくのではなく、我々が想定しておりますのは、市がいま中心部で新しく mobi さんであるとか、そういった新しい交通サービスがこの最近登場してきました。それらを受かまして、これまでの既存の交通形態であるバスであるとか、タクシー、その辺りと新しい交通形態が今後どのように協力し合って、よりよい交通形態を構築していくことができるのかっていうところをちょっと、アンケート調査を絞ってかかていきたいというふうには想定しております。以上でございます。

**菊池委員：**

はい、ありがとうございました。承知いたしました。なにかまた別の機会でもよろしいかと思うのですが、市内の中でも地域ごとの特性があると思うんです。だから、同じアンケートでも個々のそれぞれの答えが変わってくると思いますので、また、そういった方向性のアンケートも今後ご検討いただくとよろしいかなというふうに思います。

**事務局（鳥生地域政策局課長補佐）：**

はい、ありがとうございます。

**土居会長：**

ありがとうございました。他にございますでしょうか。それでは特にご意見・ご質問等ほかにないようですので、議案の第2、今治市地域公共交通計画の更新に係る基礎調査業務の実施につきましては、この案で承認ということによろしいでしょうか。

（異議なし）

ご承認をいただきましてありがとうございます。

**（報告1）今治市におかる相乗り交通サービス「mobi」実証実験中間報告について**

**土居会長：**

それでは次の議事に移ります。次からは報告議案になります。報告の第1号、今治市におかる相乗り交通サービス「mobi」実証実験中間報告についてでございます。本日はmobiを運行していただいております。コミュニティ・モビリティ株式会社の坂本様にお越しいただいております。坂本様から説明をお願いしたらと思います。よろしくお願いします。

**坂本様（コミュニティ・モビリティ株式会社）：**

皆様こんにちは、コミュニティ・モビリティの坂本と申します。本日お時間頂戴いたしまして今治市におかる相乗り交通サービス「mobi」の実証実験に関しまして中間報告をさせていただければと思います。資料3をもとにご説明をさせていただきます。

資料をおめくりいただきまして、目次のページでございます。本日3点ご報告させていただきたいと思っております、1点目これまでの取組、2点目運行実績、これは中間報告となります。3点目お客様アンケート、同様に中間報告となります。なお、実証実験の概要に関しましては、昨年11月の本協議会でご説明をさせていただきましたが、お時間の都合で割愛をさせていただきます。一部委員様の交代もあるというふうに聞いておりますが、大変恐縮ですが、実証実験の内容に関しましては、チラシ、ガイドマップをお配りをさせていただきますので、後ほどそちらをご参照いただければというふうに思います。

資料に戻りまして3ページ目です。これまでの取組ということで、本年の2月1日に河南タクシー様によりまして運行開始をさせていただきました。当初1台の運行という形で左下の図、もしくはガイドマップの地図の中で赤い部分、ピンク色の部分に限定をして開始させていただきました。その後、2月17日にメディアの露出で大きなものがございまして、テレビ東京系のガイアの夜明かというもので私どものこのmobiというものをご紹介させていただきました。そのなかでも特に、今治の取組、FC今治様とご一緒させていただきました取組に関しまして取り上げていただきまして、岡田会長にもご出演していただいたというところでございます。ちなみに、愛媛県での放映は大分遅れて放映されていたというふうに聞いておりますので、少し時間差があったかと思います。それから4月23日には、後程詳しくご説明いたしますが、ご利用者様などによるワークショップというものを開催させていただきました。そして5月15日、さわやかタクシー様によりまして運行開始が始まりまして、合計2台での運行となりました。1週間時間差を設かまして、5月23日に当初ご説明をしておりましたエリア全体に提供エリアを拡大させていただきます、ピンク色のエリアに加えて水色のエリアも提供エリアになったという経緯がございます。

次のページに移らせていただきまして、ワークショップですけれども、4月23日にこちらもFC今治様のご協力をいただきまして、里山スタジアムのクラブハウスの中で実施をさせていただきました。ご参加者17名ということで、実際にご利用いただいている我々アンバサダーというふうに呼んでいるのですが、そちらの方が6名、それから事業者、自治体の方が7名、FC今治様から4名という形で、ファシリテーターとしては我々がファシリテートさせていただきました、ワークショップを開催させていただきました。目的としましては、今治のまちをどうしたら元気にできるんだろうかといったところを軸に、mobiという実証実験を通じて、どのように改善をしていくかといったところを皆様のご意見を伺ったところでございます。こちらにも岡田会長、矢野社長にもご挨拶をいただいたというところでございます。

5ページ目をご覧ください。こちらがディスカッションの結果なのですが、例えばmobiを使って行くようになった場所、ということで、例えば、「せとうちみなとマルシェに行くようになり

ました」というお声が非常に多かったです。マルシェには駐車場がないというふうに聞いておりまして、「最寄りのコインパーキングも潰れてしまったので、なかなか自家用車で行かなかったところを、mobi を使って行かるようになりました」といったようなお声をいただいたりですとか、あとは、「芝っ広場で行われるF C今治さんのアウェイ戦のパブリックビューイング、こちらにも行かるようになりました」といったようなお声もいただいております。

また乗降地に関しましては、一旦設定をした乗降地に関しまして、追加や変更というものも可能でございますので、こういったところも皆様のご意見を伺いまして、「岡山理科大学の今治キャンパスにも行かるようにしてほしい」というお声をいただき、こちらに関しましては、5月23日のエリア拡大の際に乗降地を設定させていただいているというところでございます。そのほかのご意見に関しましては、また後ほどご参照いただければというふうに思います。

6ページ目でございます。F C今治様には多大なるご協力をいただきまして、一緒にこのmobiを盛り上げていこうということでご協力をいただいております。例えばですが、里山スタジアムに行きたくなる仕掛けということで、mobi をご利用いただいた方先着200様に、観戦チケットの割引クーポンをプレゼントさせていただいたりですとか、里山スタジアムの中にある里山サロンというカフェがあるんですけれども、こちらでスコーンを一つプレゼントというような取組をさせていただいております。このような形で、里山スタジアムのにぎわいに少しでも寄与できればといったところもありますし、F C今治様としてもこのmobiの実証実験に関しまして、認知度向上、あるいは集客販売促進、地元の関係先のご紹介などということで、多大なるご協力をいただいているところでございます。

それから7ページ目ですけれども、私どもとしまして、認知度向上・利用率向上というところを目指しまして、このようなチラシ、パンフレットを作成させていただき配布をしたり、あるいは市民の方が集まるスーパーマーケット、ショッピングセンターなどでブースを設けて、この実証実験のご紹介というものをさせていただく機会も設かせていただいております。以上がこれまでの取組でございまして、次のページから実績の報告になります。8ページ目をご覧ください。

こちらが月別の利用人数の推移になります。まだ5か月間、6月末までの数字になりますけれども、5月までも順調に進んで利用は増えてきているのですが、やはり、5月末のエリア拡大、それから運行台数が2台に増えたことによって、6月に非常に伸びてきているといったところで、現在7月にも入っておりますが、順調に利用人数が増えているというところでございます。

次のページをご覧ください。こちらが平日と休日の差になっていますが、今治のエリアにおいては平日と休日であまり大きな差は見られないというような状況でございます。他のエリアと比較をいたしますと、他のエリアは比較的平日のご利用が多いというところになりますので、今治においては休日のレジャー、そういったところにもご利用いただいているのかなというところが見てとれます。

10ページ目をご覧ください。こちら予約手段の割合になります。上段が利用人数別、下段が予約回数別ということで、人数か回数かというところであまり違いはないのですが、アプリ予約が

大体 8 割、9 割弱、電話予約が 14%、20%弱ぐらいということで、8 対 2 ぐらいの割合になっております。こちら我々全国 10 エリアで展開させていただいておりますが、都会、都心のエリアですと、大体アプリ予約が 9 割を超えてくるところもありますし、あるいは地方部になりますと電話予約がぐっと上がってくるといったところで、今治の場合は、これの中間ぐらいの割合なのかなというところがございます。

11 ページをご覧ください。こちら利用プランと利用年齢の割合を示したグラフになっております。左側、利用プランですが、30 日間定額制、5 千円でご提供させていただいているものが 61%ぐらいを占めておりまして、回数券が 10%、都度払いが 29%といったような割合になっております。それから利用年齢の割合に関しましては、40 代 50 代で大体半数を占めているというところなんですが、今治においては 80 代の方が 11%ご利用いただいているというのが、非常に我々としても驚いてるところでございます。なかなかアプリ予約がメインになってきておりますので、高齢者の方、我々もいろいろ丁寧に説明であったり、認知度向上・利用向上に努めていますが、なかなかここまで 1 割の方が 80 代というのは非常に珍しいケースでございます、60 代 70 代を加えますと、4 分の 1 ぐらい、4 の 1 弱ぐらいまでを占めるというのは、非常にシニアの方にもある程度こう一定浸透してきているのかなという手応えを感じているところがございます。

12 ページ目はこちら時間帯別になっております。赤い線が休日、青い線が平日ということで、こちらを見ますとあまり時間によって差がない。比較的平らなグラフかなというふうにほかのエリアと比較するとそのような感覚を持っているのですが、ほかのエリアですとやはり平日の朝と夕方、どうしても通勤通学の時間帯に利用が集中するのですが、今治の場合は、お昼の時間帯も一定ご利用いただいているというところが見てとれるかなと思います。

13 ページ目です。こちら、我々相乗りの実証実験になっておりますので、いかに乗り合いをしているかといったものを示したグラフでございます、実際にご乗車された乗車数の中から、乗り合いをした数を割り戻した率がこちらに記載の赤いグラフになっております。5 月の時点で、先ほど申し上げましたとおり車両が 2 台に増えましたので、一旦乗合率の方は下がっておりますが、6 月にご利用者数がまた増えてきておりますので、それに伴って乗合率が向上しているというところが見てとれるかと思えます。

14 ページ目です。こちら移動距離の推移でございます、1.2 km～3.3 km ぐらいの移動がボリュームゾーンになっております。ただし、今治エリアの場合は、比較的エリアも広いというところもございまして、移動距離にばらつきが見えているというようなところがございます。

15 ページ目をご覧ください。こちら乗降地の多い場所を示した地図になっております。左側が乗車した場所、右側が降車した場所のベスト 10 を示しております。乗車降車ともに 1 位はイオンモール今治新都市様、それから 2 番目がフジグラン今治様という形で、ショッピングモール、商業施設が上位になっております。その後は乗車場所降車場所、少し違いはありますけれども、J R 今治駅さんであったりとか、今治里山スタジアムさん、こういったところの乗降が多い傾向がございます。ちなみに、乗車の 10 番目、岡山理科大学今治キャンパス、降車場所では 7 位に

なっておりますけれども、こちら5月23日のエリア拡大によって利用できるようになった乗降場所ですが、こちらの利用が6月非常に伸びておりまして、1位に躍り出るぐらいの利用がございまして、岡山理科大学の学生さんのご利用が非常に増えているというような傾向が直近では出ているところでございます。

16ページ目です。こちら乗降した区間のベスト10を示したものになりまして、どちらかというとはり港、海の方から山の方に移動する移動が多い傾向にございます。

17ページ目がですね、今お出しをさせていただいた路線を既存の路線バスの系統と重ねたところでございます。一部重なっているところもございまして、全く同じ動きというのはあまり見られないのかなというような感覚をもってございます。

では、18ページ目、ここからお客様アンケートになります、5か月間の集計になりまして、まだまだアンケートの数が足りない、少ない状況でございましてこちらご参考までに見ていただければというふうに思っております。

まず18ページ目はですね、mobiをご利用いただく目的をお聞きしたのになります。通勤（次の交通手段までの移動、駅、バス停等）と外食、買い物、娯楽（温泉、アミューズメント等）というものの回答がそれぞれ3票ずつということで、数としては少ないのですが、そのような回答の傾向が出ているというところでございます。先ほどの移動時間、利用時間帯別であったりとか、平日、休日の別を見ておきますと、どちらかという通勤・通学に使われているというよりは、普段のお買い物であったりとか、あるいは土日の、少しお出しかかであったり、あるいは、里山スタジアムでのもちろん試合であったり、ちょっとお出しかかといったところにご利用いただいているのかなというのが、感覚的にもっているところでございます。

19ページ目でございます。こちら乗車体験の満足度をお聞きしたアンケートになっておりまして、5点満点が92%ということで、9割以上の方に5点満点をつかていただいているというところでございます。自由回答でお声もいただいているのですが、ドライバーさんに対するお声が非常に多く、安心して乗れるといったようなお声がありますので、こちら運行していただいております河南タクシーさん、さわやかタクシーさんのご協力の賜物かなというふうに思っております。

それから次のページ、こちらが最後のページになりますが、こちらmobiの必要性ということで、「今後もこのエリアの交通手段としてmobiが必要だと感じますか」といったところには、8割以上の方が「はい」というようなお声をいただいております。お客様の声としては、「とても便利で助かっています」といったところですか、「利用エリアが拡大されたので利用しやすくなるのではないかと期待しています」というようなお声がある一方で、「配車できません」というようなシステムのちょっと待ち時間が多くなってしまう場合には、このような回答を返すこともあるのですが、「そういったところだと困ってしまう」といったりですか、一番下のご意見もそうですね、「乗り放題の意味がないのでは」というようなお声もいただいておりますので、我々としてはこの点も改善をしていきたいというふうに考えております。

資料にはないのですが、私どもの今回の実証実験に関しましては、本年の2月1日から来年の



1月31日までの1年間の期間限定という形で申請をさせていただき、実証実験をさせていただいております。私どもとしましては、このような形で利用者の方のお声もいただいております。利用者の方も増えているところがございますので、今治エリアにおかるエリアオンデマンドの必要性というのは確認できたのかなというふうに思っております。私どもの考えといたしましては、もし可能であれば来年度、2年目に関しては、サービスの継続性、事業の継続性といったところを検証させていただきたく、実証実験の2年目というものを実施していきたいというふうに考えておりますので、そちらに関しましては次回の協議会、11月に開催されるというふうに伺っておりますので、そちらで皆様にご協議をいただきまして、2年目に向かって進めていかればというふうに考えておりますので、引き続きお願いしたいというふうに思います。

それから最後に、ちょうど今日の14時にプレスリリースが出たのですが、愛媛県内の南予の方で、松野町さんで、愛媛県の実証実験という形で同じく、このmobiの実証実験を8月1日から開催することが決まりました。ですので、愛媛県下におきましてはこの今治市と松野町2か所で、私ども実証実験をさせていただくということで、ありとあらゆるフィールドでいろいろなデータを蓄積させていただいて、今後の公共交通のあり方に関して分析、検証していきたいと思っておりますので、引き続きお願いしたいと思います。私からの説明は以上となります。ありがとうございます。

#### 土居会長：

ありがとうございます。私もエリア拡大の時に、3回分の無料クーポンがありますよと教えてもらって登録をして、実際使ってみました。駅の近くに住んでいるのですが、さいさいきて屋の少し先の料理屋さんところに、夜飲み会があるのでそこまで使わせてもらったのですが、今どこまで迎えにきているのかもスマホ上に出ますし、乗ったら非常に良い対応もしてもらえますし、いろいろ車の中でもサービスの様子も聞いたり、利用者の様子も聞いたりしたのですが、運転手さんも非常に事業に詳しく、いろいろ教えていただいたこともありました。この辺り非常に良いサービスで、無料券がなくなった後もぜひ、これ使いたいなというふうに思っています。その関係で実際にmobiを運行していただいている河南タクシーさんもお越しいただいていますが、平野委員さん、タクシー事業協同組合の組合長さんでもありますが、実際、河南タクシーとしてmobiも運行していただいています。そのあたり今現在の問題点とか、何か課題とか、今後さらにやっていくために、こういうのが必要とか何かありましたらお願いできますでしょうか。

#### 平野委員：

そうですね。実はこれ、今副市長さんが言っていたように、乗るお客さんが当初はものすごく少なかったのですが、岡田会長が本当に宣伝をしてくれて、本当にお客さんが増えて、1台では足りないようになったからというのでお願いをして、もう1社、さわやかさんがしてくれるようになりました。そのなかで、ここの資料にもあったように、若い年齢から年寄りにはできない。私もこれスマホなんかでできないかど年寄りまでできると、これ表を見たらね、それで大変驚いて

いるのですが。若い年齢が呼んでくれると。そして、おまかにタクシーとかバスとかのお客さん以外のお客さんが増えているということ、これが一番ですね。それと mobi の会社の方が言われたように、通勤の人も、今まで車を止めてそこから歩いていたのが歩かなくて済むようになったとか、そういうふうな通勤客の人も増えていると。それとこれは2回ほどですが、本当にこういうふうな mobi があってよかったとって旅行から帰る際にお土産をいただいたと、こういうふうなお客さんもございまして、本当にこれタクシーのお客も取られるのではないか、バスのお客さんも取られるのではないかと思ったのですが、バス停というのではなく、mobi の停まる場所は 440 か所というきめ細かなところでやっているの、違う客層が乗っていただいて、そこからまたお金を落としてくれていると、私はそう信じております。

それと、本当は言いたくなかったのですが、これ mobi の会社の人にも前に一度言ったのですが、料金が安すぎる、会社におりる金が。それこそここにいる委員の皆さん、少しでも mobi をしている会社に、少しでも手当をいただきたら非常に嬉しいと思います。

**土居会長：**

ありがとうございます。いまのは mobi さんに入るお金が安すぎるというよりも、タクシーを運用しているタクシー会社になかなか入ってくる金額がちょっとまだまだ低いという感じですか。

**平野委員：**

そうです。もうその少しでも上げていただいたらというのが、本当はわたくしどもの考えです。

**土居会長：**

ありがとうございました。すみません、込み入った話聞きますかども、これは mobi さんところは全国いろんなところで運用されていますが、どこも同じ金額なのですか、それとも地域ごとにやっぱり違うのですか。

**坂本様（コミュニティ・モビリティ株式会社）：**

すみません、民民の契約の内容なのでちょっと詳しい内容は控えさせていただきますが、それぞれ相対でご契約をさせていただいております。

**土居会長：**

ということは、違うということですね。

**坂本様（コミュニティ・モビリティ株式会社）：**

はい、それに関してもうひとつ2年目に向かての話でお話させていただくと、先ほど事業の継続性を2年目は検証したいといったところですので、そういったところも含めて、今のお客様か

らいただく運賃プランもこれが果たして適正なのかっていうのも検証していきたいと思いますし、運行会社さんにとっても今後継続をしていきたい、していかなような仕組みにしていきたいと思っておりますので、その点も含めて2年目、いろいろチャレンジをさせていただきたいというふうに思っております。

**土居会長：**

ということで、少し何か改善しそうな雰囲気もありますので。

**平野委員：**

私が言いたいのは、市や県からの補助が少しでもいただけたら嬉しいということです。

**土居会長：**

そちらですか。検討します。他になにかご質問等ございますか。

**松村委員長：**

お伺いしたいことがたくさんあるのですが、ちょっと置いといて。もし可能であれば、この定額制の方が月間何人ぐらい契約されているのかっていうのを教えていただければありがたいなと思います。

**坂本様（コミュニティ・モビリティ株式会社）：**

はい、現状ですね、定額制をご契約いただいている方が174名。それ以外の都度利用も合わせて、いわゆる月間に使っていただいているお客様が、274名程度ということでございます。

**松村委員長：**

ありがとうございます。大変重要な数値だと思うんですね。こういうサブスク型の交通が公共交通では非常につらかったんですね。公共交通の最大のデメリットっていうのは、その都度お金をチャリンチャリン払っていくっていうところがお金を絞り取られてるような感じがしてですね、本当は、車にものすごく投資しているはずなんですけど、その抵抗感がこういうサブスクの形にすればなくなるっていうのが、僕は何回でも利用しようかなって思うような最大のメリットだと思いますので、それがこの174名の方々の契約があるっていうのは、これからタクシー、それから公共交通、バスですね、等々の新たな可能性っていうのを具体的に検証されるんじゃないかなというふうなことです。それと小学生1人でも利用できるんでしょうか。

**坂本様（コミュニティ・モビリティ株式会社）：**

はい、ご利用いただけます。

**松村委員長：**

となると、塾帰りであったりとか、そういうふうなところもこれからどんどん増えていくべきだと思うんですね。だとしたときに、子育て支援っていうのでこれまでどちらかというです、無償化であったりとか、そういう話がほとんどだったんですかども、そうではなくって本来の子供の健全な育成を考えていった時に、公共交通に乗ったりとか、こういういろんな人と乗り合わせていくというのは、児童生徒の健全な育成を支援していくものなので、本来であるならば、私はこういうところに子育て支援として財政を投入すべきなのではないかなっていうので、先ほど平野さんのおっしゃったようなところは、そういうような形での支援の仕方ってのあるんじゃないかなと。それは別に mobi さんだけではなく、バスであったり、そういうふうなものに対してもそんな支援でのやり方ってのはあるのではないかな、というように日々感じているところです。

それともうひとつ、今治キャンパスのところで増えてきたというお話がありましたが、是非ですね、来年度も継続されるというようなこと前提ですけれども、入学の合格通知を送る際に、是非この mobi さんのいろんな情報も一緒に送るっていうようなことを検討されたらどうかというふうに思います。現在でも瀬戸内さんの情報が、入学手続きの際に入っていると思うのですが、それと併せてこの mobi さんのやつも入っていると、そうするとおそらく、どこで下宿を決めるのかという時に、このサービスエリアの中で決めようとか、路線バスであるならば、バス停の近くで下宿を決めようと、アルバイトどこでしょうかなと思ったときには、このエリアの中でアルバイトをしようとか、そういうような選択になると思いますので、一旦なにも無しで下宿を決めてしまうと、決めたところに公共交通のサービスが無いっていう話になってしまうと、それからこういうふうな公共交通を使ってくださいって話になっても到底無理な話ですので、是非、そういうような自分の生活の拠点であったりとか、アルバイトの拠点というのを決める際に、こういう公共交通のところ沿ったような形に進むと、自分の暮らしをデザインするときに公共交通網のサービスを考えてデザインするっていうようなことができるような、そんなようなことの方が好ましいかなと思いますので、是非、何かそういうような現在のこのマップの話とともに、そういうのをペラ1枚でも結構だと思いますので入れられると、おそらくより多くの方々が契約されるでしょうし、より多くの方々が路線バスに乗っていただけるんじゃないかなというように思います。以上です。

#### 土居会長：

ありがとうございました。他にご意見・ご質問よろしいですか。

#### 一色委員：

この mobi を導入する際に気になっていたことで、路線バスとエリアが被っているというのがあって、バスへの影響というのが私自身ちょっと気になっていたところなのですが、その点が瀬戸内さん、タクシー会社さんは先ほど河南の平野さんから、タクシーを今まで利用されていなかった方が利用されているという声もあり、ある程度好意的なというか、今までなかった需要が掘

り起こせているというふうにお伺いしたのですが、一方そのバスのお話をちょっと聞いてみたいなと思うのですが、瀬戸内さんいかがでしょうか。

**川田委員：**

そうですね、特にエリア拡大が5月からになって、そこからの傾向というところですかど、今我々の立ち位置も、特に収入面という切り口においては、コロナも回復傾向にありますので、前年と比べると良くなっている。ただし、コロナ前に比べると、とても届いていないという状況がずっとこの半年ぐらい続いていますし、だからそのなかで、この mobi の影響がどれだか出ているのかというのは、ちょっとなかなか掴みにくいところがあります。ただひとつは、この2か月ぐらいの傾向としましてはこの資料と合致するのですが、イオンモール今治新都市と今治駅を結ぶシャトルバス、こちらのお客様の減少はやはり出ておりますので、やはり1番パイの大きいところでは、食い合いになっているということは否めないと思います。

**一色委員：**

ありがとうございます。先ほど mobi さんからも話があったように、来年以降もってという話があるので、そこ確かにおっしゃられるようにコロナの影響で利用が比較しづらいというのもあるかとは思いますが、イオンと駅のシャトル便に影響があるというのはありましたが、それ以外の先ほどの mobi の資料の中にもあったように、路線バスのエリアとはあまり被っていないかなという話はありませんが、今後続かていくということになれば、コロナの影響も薄まって続かていくとなると影響もあるかもしれないので、そこは利用の状況っていうのも見ていただいて、是非次の会議なりでお話いただかると、より mobi とバスとの共存というのができるかなということを考える材料にはなるかと思いますので、ぜひ、次ちょっとご検討いただければと思います。

**土居会長：**

ありがとうございました。利用者の方の利便性と、バスあるいはタクシーの採算性っていうのを、非常に上手に取りながらしないと、どこが犠牲になってもいけない話なので、そこは、今後也十分に話し合いながらやっていきたいなと思っております。

## **(報告2) 今治市におかるデマンド型乗合タクシー利用実績について**

**土居会長：**

それでは次の次第4、報告の第2号に移ります。今治市におかるデマンド型乗合タクシー利用実績についてでございます。事務局から説明を申し上げます。

**事務局（白石地域政策局長(兼)課長）：**

それでは、報告第2号今治市におけるデマンド型乗合タクシー利用実績についてをご説明させていただきます。資料4、今治市におけるデマンド型乗合タクシー利用実績をご覧ください。

前回の協議会では、令和4年度実績のご報告をさせていただきましたが、皆様からの貴重なご意見をいただきたく、協議会の都度、実績をご報告させていただきたいと考えております。

今回は今年度4月から6月分の実績報告をさせていただきます。

まず、朝倉地域乗合タクシーの利用状況でございます。朝倉支所周辺エリアでは、徐々に認知度が上がってきたこともあり、昨年9月から利用人数が20人前後で推移しており、今年度4月から6月も同程度を利用いただいております。済生会便については、昨年から同じ方がワールドプラザへ行くのに利用していただいております。今回も6月に一度利用いただいております。

続きまして、吉海地域乗合タクシーの利用状況でございます。田浦地域ではどの月も150人以上のご利用があり、この乗合タクシーがうまく地域に根づいているのではないかと考えております。椋名地域では田浦地域ほどの利用ではございませんが、一定数の利用がございます。

最後に、チョイソコおおみしまの利用状況でございます。チョイソコおおみしまの登録者数は毎月徐々に増加しており、認知度が上昇していることがわかります。それに伴い、月利用者数も増加しており、今年度に入ってから月利用者数は昨年度の約2倍となっております。引き続き、各種イベントなどでPRを行い、登録者数の増加を図っていきたいと考えております。以上でございます。

**土居会長：**

ありがとうございました。こちらにつきまして何かご意見・ご質問等ございますでしょうか。それでは、瀬戸内海交通さんは何か影響はございませんか。

**佐津間委員：**

はい、吉海地域乗合タクシーが、私どもの昨年廃止になりました田浦線と同じ区間かと思うのですが、田浦線でだいたい毎日3人ぐらいの往復ということでしたので、だいたいその方がこちらの方に上手くシフトしていただけたのかなと思っております。椋名地域も、もう少し私どものバスの方がご利用があったかなと思うのですが、ちょっと思っているよりかはご利用が少ないのかなというのが私どもの印象でございます。

**土居会長：**

ありがとうございます。その他こちらの3地域のそれぞれの取組につきましての実績を見て、なにかご意見・ご質問ございますでしょうか。

**松村委員長：**

朝倉のことについて少しだけ。そろそろ色々考えなければいけない時期なのではないかなと

いう感じはしています。例えばオンデマンドなので、デマンドがなかれば運行しないということなので、そういう意味では関係ないのではって話はあるのですが、とは言いながら、利用されてなんぼのもんだというふうに思いますので、済生会のところがこれだか0が続いたり2が1、2というふうなところを考えてみたら、一度周知を徹底してみて、もしも本当に需要がないのであれば切るといいでしょうか、そういうようなことにもなるのかなと思いますし、朝倉のところも増えているとはいいながらも、ちょっとやはり苦戦し続いているなという感じがしますので、もう一度、住民の方々にご協力といいましょうか、周知徹底をしていただいて、もし必要じゃないというのであれば、という話もあるでしょうし、いや、そうではないと、もうちょっとこういう形だったら使えるんだかれども、というようなご意見なんかを頂戴するような機会というのを、こちらの支所については、危機感を持ったほうがよさそうかなという感じはしています。

**土居会長：**

ありがとうございます。朝倉地域の問題はやっぱり課題としてずっと思っているのですが、それもあるって今回、先ほどお話で出ました玉川地区の乗り降りの場所は、きめ細かいゴミステーション、集会所に至るまでどこからでも乗れますよ、みたいな形で設定して、とりあえずやってみようということなのですが、このあたりがもしこれでお客さんが玉川たくさん利用いただけるようだと朝倉も、ということになるんですか。そのあたりどうですか。

**事務局（白石地域政策局長(兼)課長)：**

はい、朝倉の方、そして田浦従来の地域の方は、乗降スポットがとても少なくあります。今回玉川地域の乗降スポットを増やしたのは、チョイソコおおみしまの乗降スポットが多かったというふうなところを考慮して反映させております。ただ、まだ実際に運行しておりませんので、その結果がどう出るかといったところが注目されて私たちも気にしているところです。その状況を見ながら、やっぱりせつかく運用するからには乗っていただきたいということで頑張りたいと思いますので、朝倉の方の乗降スポットを増やす、また便数の改善など、その辺りをまた利用者のお声を聞くということも併せまして、改善していきたい、改善しなかなければならないと考えております。

**土居会長：**

ありがとうございます。朝倉については、元々路線バスの利用が少なかったのでバス路線を廃止した。それで困る人が多分いらっしゃるだろうからということで、乗合タクシーをとりあえず運行さしてみましたが現在こういう状況です。今申し上げたようないろんな改善点を講じながら、それでもやっぱり伸びないようだとそれはなんかもう必要ないのかなというような判断も、松村委員さん言われるような形で判断も、今後は何かしないといかないのかもしれないですし、これはもう少し様子を見させていただいたらと思います。その他何かございますでしょうか。

(異議なし)

それでは特にご意見ございませんようなので、本日の議題は全て終了いたしました。事務局へお返しします。

#### **4 閉会**

**地域振興部長：**

皆さんどうも、長時間にわたりありがとうございました。

以上をもちまして令和5年度第2回今治市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。

どうもありがとうございました。